



地方創生, 中国地方を元気に!

編集にあたって

特別小特集編集委員会委員長 堀田昌志

昨今の社会的な問題として地方における高齢者人口の急増、逆に、若年者人口の減少が著しくなっている。これに対応すべく国家単位でも2014年に地方創生担当大臣を設置するなど地方の活性化に向けた取組みが進められている。

中国地方においても地域高齢化率は急増しており、逆に、顕著な若年者人口の減少が見られる。ここで、特に若年者人口の減少について考えてみると、現在、中国地方の学術機関に在籍する学生で、学会や研究活動に積極的に参加して、将来、自身が修得した能力を生かした研究・技能職で働きたいと願う学生の進路は、独自の研究開発部門や研究所を持つ大都市圏の企業が多く、それが若手技術者の地方流出の一要件となっているのではないかと考えられる。これらの傾向は本会学生員分布からも推察できるところである。実際、中国地方5県でも、各地域における歴史的あるいは地勢的特徴を生かした産業が根付いている所もあるが、その産業種別分布を見ると、どうしても偏りが見られる。現在、同地域内の各自治体では地元企業への学生就職率の向上に関する取組みが活発に推進されようとしているが、雇用希望企業等の業種や職種が現存のように偏ったままでは、理系学生を引き留める受け皿としては不十分でないと思われる。

これらを改善して中国地方全域における活気を呼び戻すには、中国地方における地域性をいかした研究や取組みを積極的に展開し、その成果に地域内の企業や自治体が積極的に連携することで、新しい地方の産業モデルを創生する仕組みを整備することが必要と考えられる。また、それらの事業内容を全国的に広報することで、これらの技術を基に他の地域や地方と連携して産業モデルを

拡大することも必要ではないだろうか。このような取組みにより、各事業内で必要とされる技術や産業分野に広がりが生じ、様々な分野の若手技術者のニーズが高まることが期待できる。

このような背景の下、本特別小特集では、「地方創生、中国地方を元気に！」と言うタイトルに思いを込めて、中国5県で行われている地方創生に関連した研究や事業について各県1テーマずつ5テーマを紹介する。

今回掲載するテーマは、まず、一般の方にとっても身近な環境モニタリング分野から1編、高齢化社会や現代社会問題を取り扱う医療福祉分野から2編、そして、技術開発の基礎から応用として、電子計測及び電子デバイス用部材開発技術分野から2編の順で掲載している。ここで紹介している研究や取組み以外にも、中国地方で地域と密接に連携した特色あるテーマは数多く存在するが、それらの紹介は、今後、機会を獲ることができれば積極的に行いたいと考えている。

この特別小特集の企画が、中国地方出身の技術者はもとより、全国の技術者の皆さんに当地方における特色ある研究や取組みを再認識して頂く機会となり、その知識が各職場における技術開発のヒントとなれば幸いである。また同時に、日本全国の各種企業の皆様に、当地方における特色ある研究や取組みを知って頂き、今後、中国地方を元気にする活動に興味や関心を持って頂きたいと切に願っている。

最後に、本特別小特集の編さんにあたり、様々な御助言を頂いた本会中国支部前支部長の秦 正治氏及び各執筆者の皆様に心から御礼を申し上げます。また、本特別小特集タイトルの決定から各県におけるテーマ提案・編集に御尽力頂いた特別小特集編集委員会メンバー、そして、会誌編集委員会及び学会事務局の皆様に深く感謝致します。

平成 28 年 10 月号特別小特集編集委員会

委員長 堀田昌志 (山口大)	幹事 山口真悟 (山口大)	委員 角田良明 (広島市大)
委員 高橋健一 (鳥取大)	委員 富里 繁 (岡山大)	委員 六井 淳 (島根大)